

事務事業評価表

○基礎情報

課名		拠点整備課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	58	地域特性に配慮した都市拠点を整備する	大川 哲裕	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	8 人	0 人	0 人	0 人	9.27 人	1,157 時間	12.1 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
辻堂駅西口周辺整備事業の整備進捗率	86.6%	86.8%	86.7%	86.7%	86.7%
香川駅周辺整備事業の整備進捗率	18.4%	27.3%	20.6%	26.3%	27.2%
浜見平地区拠点整備事業の整備進捗率	35.8%	60.6%	40.3%	46.5%	49.1%
萩園地区産業系市街地整備事業の整備進捗率	38.7%	100%	44.0%	90.2%	93.8%

(施策のねらい)

1	住宅、商業、工業などが調和した土地利用の誘導(辻堂駅西口周辺)
2	交通基盤の整備・都市機能の導入(香川駅周辺)
3	公共施設・商業施設の段階的整備(浜見平地区周辺)
4	基盤整備の推進(萩園地区)
5	都市整備の推進
6	0
7	0
8	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める  
**C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
**Z** 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円) H30決算(円)	R元予算(円) R元決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	辻堂駅西口周辺整備事業	1	1.38	一般	305,000 304,290	435,000 305,791	辻堂西口YU-ZUルームの活動支援を通じて継続的に地域コミュニティの形成や地域との交流が図れた。		辻堂駅西口周辺整備事業の進捗率	86.7%		86.7%	S	変動なし		
2	香川駅周辺整備事業	2	1.66	一般	206,330,000 182,001,425	18,252,494 11,366,233	将来の相模線の利便性向上を見据え、段階的に駅周辺の交通基盤などの面的整備を進めており、歩行者の安全性を高める歩道整備のための事業用地を買収した。		香川駅周辺整備事業の進捗率	27.2%		27.2%	S	変動なし		
3	浜見平地区拠点整備事業	3	2.95	一般	241,264,000 190,934,673	164,171,920 129,701,147	独立行政法人都市再生機構(UR)による浜見平団地の建て替えに合わせ、生活利便性や防災性の向上を目指しており、松尾川雨水幹線を緑道化し、歩行空間を確保した。		事業の進捗状況	54.1%		49.1%	S	変動なし		

4	萩園地区産業系市街地整備事業	4	2.11	一般	490,165,000	151,263,506	組合施行による事業への支援を行い、都市基盤施設の整備を進め、産業系への土地利用転換及び良好な生活環境の形成を図るため、組合による基盤整備工事が進捗した。	基盤整備率	99.0%	93.8%	S	変動なし		
					370,453,173	127,064,349								
合計					R元予算(円)	334,122,920								
					R元決算(円)	268,437,520								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)														
<p>拠点整備課の令和元年度における政策的事業数は4事業である。これら事業の評価結果は、「S」4事業となっており、全ての事業で成果を出すことができた。指標の達成状況に着目すると、拠点整備課の主要事業において全て80%以上を達成しており、順調に事業が実施できたと考えている。</p> <p>辻堂駅西口周辺整備事業については、土地区画整理事業そのものは終了しているため実績値は横ばいだが、その他の事業については業務計画に基づき施策目標の達成に向けて重点的に取り組んだ結果、新型コロナウイルス感染症の影響をほとんど受けることなく上記のような成果が出ている。</p> <p>一方、職員の時間外勤務に着目すると、総時間で1,157時間、一人当たりに換算すると月平均12.1時間であり、前年度と比較して総時間数439時間増加、1人当たりの月平均は、4.6時間増加した。原因としては、1月の会計検査対応等に時間を要したこと、萩園地区産業系市街地整備事業が本格的な整備段階に入り、関係機関との協議に時間を要したこと等が考えられる。</p> <p>拠点整備課の各事業は、ルーチン業務がほとんど無く、地権者対応等の対外的な要因により事業進捗が左右されてしまうこともあるが、その中でも事務の効率化や実施手法の改善を図ることにより、時間外勤務の縮減に取り組む必要がある。</p> <p>なお、萩園地区産業系市街地整備事業の指標については、市の総事業費に対し、執行済事業費の割合を算出しているため93.8%の執行率となっているが、土地区画整理組合執行分を含む土地区画整理事業全体の執行率は75.3%であることから、令和2年度も引き続き事業への支援を行っていく。</p>														

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	各拠点共に計画があり、地域住民も交えてまちづくりを推進している。市としてもハード・ソフト両面にこれまで投資してきており、整備が完了すれば税収や地域の活性化等が見込めるため、現時点で廃止を検討することは難しい。